

みずほマーケット・トピック(2019年5月24日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

3. 本日のトピック: 筆者出張のため、本日のトピックはお休みとさせていただきます。

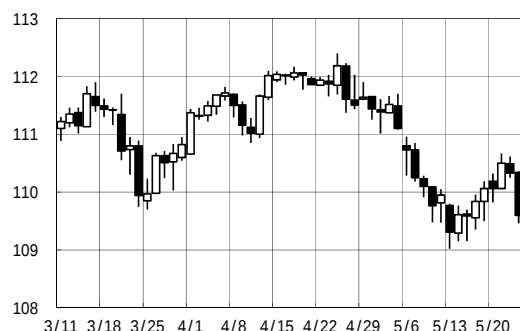
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は上昇するもその後は弱含む展開。週初 20 日に 110 円台前半でオープンしたドル/円は、本邦 1~3 月期 GDP の良好な結果を好感するとやや強含むも、米中通商協議に対する懸念が継続する中、その後は 109 円台後半まで下落した。翌 21 日は、米国の対中国企業規制猶予を受けて株価が強含む中、ドル/円は 110 円台前半で底堅く推移した。その後メイ英首相が 2 回目の国民投票実施を議会に提案する方針を示唆したことを受けてポンド/円が急伸する動きに、ドル/円は一時週高値となる 110.67 円まで上昇。22 日は、アジア株が上値重く推移する中で円買い優勢地合いになると、米金利低下も相俟ってドル/円は 110 円台前半まで下落した。23 日は、米 5 月マクミット製造業及びサービス業、4 月新築住宅販売の市場予想を下回る結果や株式市場が下げ幅を拡大すると、ドル/円は一時週安値となる 109.46 円まで下落した。本日にかけてのドル/円は、109 円台前半で底堅い推移が継続している。
- 今週のユーロ/ドル相場は揉み合う展開。週初 20 日に 1.11 台後半でオープンしたユーロ/ドルは、23 日に欧州議会選挙を控え 1.11 台後半で上値重く推移。21 日に 1.11 台前半をつける場面が見られるも、2 回目の英国民投票の可能性が高まったことを受けてポンド/ドルが急伸する動きに、ユーロ/ドルは一時週高値となる 1.1188 まで連れ高となった。22 日は、ユーロ/円の下落や 6 月末の米中首脳会議開催への期待感からドルが買われると、ユーロ/ドルは上値重く推移。23 日には、メイ首相が 24 日に退陣の日程を発表するとの報道を受けポンド/ドルが下落する中、独 5 月製造業 PMI の弱い結果も相俟ってユーロ/ドルは軟調に推移し、株価下落を受けたユーロ/円の下落も手伝い、ユーロ/ドルは年初来安値となる 1.1106 をつけた。しかしこのレベルではユーロ買い意欲も強く、米経済指標の悪化を受けたドル売りにユーロ/ドルは 1.11 台後半まで回復した。本日のユーロ/ドルは欧州議会選挙の結果を控え、1.11 台後半で上値重い推移が継続している。

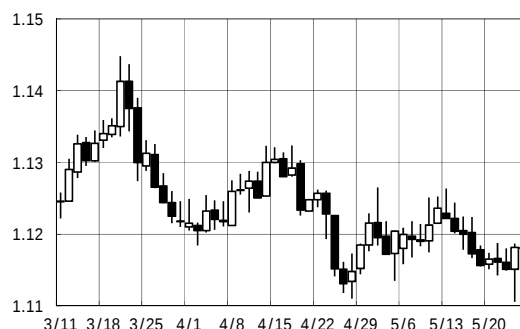
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		5/17(Fri)	5/20(Mon)	5/21(Tue)	5/22(Wed)	5/23(Thu)
ドル/円	東京9:00	109.88	110.19	110.08	110.55	110.22
	High	110.19	110.32	110.67	110.62	110.36
	Low	109.50	109.81	110.03	110.24	109.46
	NY 17:00	110.06	110.06	110.50	110.33	109.60
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1174	1.1165	1.1167	1.1164	1.1155
	High	1.1184	1.1174	1.1188	1.1181	1.1187
	Low	1.1155	1.1150	1.1143	1.1149	1.1106
	NY 17:00	1.1157	1.1165	1.1161	1.1151	1.1182
ユーロ/円	東京9:00	122.77	123.02	122.95	123.40	122.94
	High	122.97	123.19	123.74	123.49	123.07
	Low	122.28	122.55	122.69	122.99	122.15
	NY 17:00	122.76	122.87	123.35	123.06	122.56
日経平均株価		21,250.09	21,301.73	21,272.45	21,283.37	21,151.14
TOPIX		1,554.25	1,554.92	1,550.30	1,546.21	1,540.58
NYダウ工業株30種平均		25,764.00	25,679.90	25,877.33	25,776.61	25,490.47
NASDAQ		7,816.29	7,702.38	7,785.72	7,750.84	7,628.28
日本10年債		-0.06%	-0.05%	-0.05%	-0.06%	-0.06%
米国10年債		2.39%	2.42%	2.43%	2.38%	2.32%
原油価格(WTI)		62.76	63.21	63.13	61.42	57.91
金(NY)		1,275.70	1,277.30	1,273.20	1,274.20	1,285.40

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・米国では、28日(火)にはコンファレンス・ボード集計の5月消費者信頼感指数の発表がある。既に発表されている5月ミシガン大学消費者マインド指数(速報)は102.4と前月の97.2から大幅に上昇した。内訳をみると、現状指数は112.4(前月:112.3)と小幅上昇にとどまったが、期待指数が96.0(前月:87.4)と大幅上昇となった。ミシガン大によると、景気見通しの改善が期待指数を大きく押し上げたようだ。1月を底として消費者マインドは持ち直し傾向にある中、5月消費者信頼感指数も130.5と2月の129.2から上昇すると予想されている。金融政策関連では、30日(木)にクラリダFRB副議長が講演を行う予定である。
- ・本邦では、31日(金)に4月鉱工業生産(速報)が発表される。3月の生産は前月比▲0.6%(2月:同+0.7%)と2か月ぶりに減産となった。四半期で見ると、1～3月期は前期比▲2.5%(10～12月期:同+1.3%)と2四半期ぶりの減産となり、2017年1～3月期以来の低水準となった。製造工業生産予測調査をみると、4月が前月比+2.7%、5月も同+3.6%といずれも大幅な増産が計画されている。もっとも、予測指数には上振れバイアスがあり、経済産業省が補正した試算値では、4月は同▲0.5%と減産見通しとなっている。生産に関連する統計を確認すると、4月の実質輸出は前月比+1.4%(3月:同▲1.2%)と増加しており、市場では4月の鉱工業生産指数は前月比+0.2%と小幅な増産が見込まれている。なお、今年はゴールデンウィークが10連休となったため、過去の季節性パターンが当てはまらない可能性がある点には留意が必要である。

	本 邦	海 外
5月24日(金)	_____	・米4月耐久財受注(速報)
27日(月)	・3月景気先行指数(確報)	_____
28日(火)	・4月企業向けサービス価格	・米3月S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格 ・米5月消費者信頼感指数
29日(水)	_____	_____
30日(木)	_____	・米1～3月期GDP(2次速報)
31日(金)	・4月労働力調査 ・4月鉱工業生産(速報) ・4月新設住宅着工 ・5月東京都消費者物価指数	・米4月個人所得・支出 ・米5月ミシガン大学消費者マインド(確報) ・米5月シカゴ購買部協会景気指数

【当面の主要行事日程(2019年6月～)】

ECB 政策理事会(6月6日、7月25日、9月12日)
 G20 財務相・中央銀行総裁会議(6月8～9日)
 日銀金融政策決定会合(6月14～15日、7月29～30日、9月18～19日)
 米 FOMC(6月18～19日、7月30～31日、9月17～18日)
 G20 サミット(6月28～29日)

国際為替部
 チーフマーケット・エコノミスト
 唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuohobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuohobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2019年5月23日	プレグジットQ&A～メイ辞任、再国民投票、勝負の6月～
2019年5月22日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年4月分)
2019年5月21日	ユーロ相場の需給と「ドルしか買えない」状況
2019年5月20日	「1ドル=7.00」の攻防再び
2019年5月17日	週末版(円相場の需給環境について～建値通貨別でユーロ建て証券投資が過去最大に～)
2019年5月15日	景気動向指数の「悪化」判断と増税の先行きについて
2019年5月14日	関税引き上げと通貨安～元安対抗にも限界あり～
2019年5月13日	米中協議は実質決裂へ～舞台は大阪G20へ？～
2019年5月10日	週末版(「中央銀行の独立性」とトランプの口先介入～「失言」と割り切って良いのか？～)
2019年5月9日	「相応の理由」なき投機のドル買いはいつまで続くか
2019年5月7日	追加関税騒動について～半年間の努力はどこへ～
2019年4月26日	週末版
2019年4月24日	薄氷のドル高相場～賭けるべき「次の一手」は～
2019年4月23日	10連休を契機に考える休日増加の功罪
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年3月分)
2019年4月22日	円安リスクの点検～年後半は「米国 vs. 欧中」～
2019年4月19日	週末版(ユーロ圏PMIを受けて～「底打ち」しても正常化は別の話～)
2019年4月18日	ドル高を容認できない中国の経常収支
2019年4月17日	相次ぐECBの「次の一手」に関するヒント
2019年4月16日	「改善の極み」を指摘したIMF～循環的なピーク～
2019年4月15日	ECB政策理事会～階層化とTLTRO3の取り扱い～
2019年4月12日	週末版(やはり直面した「欧州らしい結末」～臨時EU首脳会議を受けて～)
2019年4月10日	IMF世界経済見通し～「副題」で見る世界経済の変遷～
2019年4月9日	円相場の基礎的需給環境～「均衡」がもたらすレンジ～
2019年4月8日	プレグジット情勢を巡るQ&A～臨時首脳会議を前に～
2019年4月5日	週末版(ドイツが「けん引するユーロ圏の減速～大崩れしたドイツ製造業受注～)
2019年4月4日	外貨準備構成通貨の現状(18年12月末)
2019年4月3日	ECBはマイナス金利を階層化するのか？
2019年4月2日	円高を阻む経常収支構造の変化
2019年4月1日	「恵まれた為替環境」を再確認した内閣府調査
2019年3月29日	週末版
2019年3月26日	円安リスクの点検～敢えて考える円安リスク～
2019年3月25日	「自分の尾を追う犬」となったFRBと景気後退の考え方
2019年3月22日	週末版(コミュニケーションが荒れ始めたFRB～本末転倒感の拭えないドットチャート～)
2019年3月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年2月分)
2019年3月18日	「ユーロ圏の日本化」の正しい読み方
2019年3月15日	週末版(プレグジット交渉、当面の読み方～人質戦略は奏功するのか？～)
2019年3月14日	「地方の南欧化」を想起させる業種別一律最低賃金
2019年3月13日	プレグジット、「2度目の否決」と「新たな期限」
2019年3月12日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年1月分)
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年12月分)
2019年3月8日	週末版(ECB政策理事会を終えて～ドラギ総裁は1度も利上げできずに退任へ～)
2019年3月5日	米金利上昇&ドル高を阻む「ドル化した世界」
2019年3月4日	大統領のドル高けん制～不安な「相手国が悪い」という理屈～
2019年3月1日	週末版(金融政策格差に落ち着いた年初の2か月間～互いに「住む世界が違う」様相～)
2019年2月27日	米中貿易協議再延期を受けて～現状と展望の整理～
2019年2月25日	円安リスクの点検～想定外の米経済堅調が招く円安～
2019年2月22日	週末版
2019年2月21日	FOMC議事要旨～「patient」の舞台裏～
2019年2月20日	自動車関税を前に考える日欧の立ち位置
2019年2月18日	停滞する日米欧中銀への期待と為替相場
2019年2月15日	週末版(米小売売上高ショックをどう読むか？～懸念される逆資産効果～)
2019年2月14日	看過できない仏伊関係の悪化～大戦以来の大使召還～
2019年2月13日	ドル/円相場は新常态にあるのか？
2019年2月12日	変わりそうにない対外直接投資の潮流
2019年2月8日	週末版(2018年の円相場の基礎的需給環境～対外証券投資への期待は難しそうな2019年～)
2019年2月7日	次期ECB総裁レースの現状整理
2019年2月6日	バイマン独連銀総裁も認める景気減速の現状
2019年2月5日	プレグジット交渉を巡るQ&A～今一度行う現状整理～
2019年2月1日	週末版
2019年1月31日	FOMCを受けて～正常化プロセスの終了～
2019年1月29日	「株価ファースト」という誤解を招きかねないB/S縮小戦略
2019年1月28日	円安リスクの点検～円高のメインシナリオを揺るがすもの～
2019年1月25日	週末版(ECB政策理事会を終えて～「年内利上げ無し」を暗に認めたドラギ総裁～)
2019年1月24日	日銀金融政策決定会合を受けて～「願望」すら難しい状況に～
2019年1月22日	堅調なユーロ相場の背景にある欧州の減速
2019年1月21日	対米貿易黒字ゼロ計画について～マッチポンプは終わらず～
2019年1月18日	週末版(正常化どころではないECBを取り巻く近況～市場のメインシナリオは転換済み～)
2019年1月17日	英国情勢の論点整理～「壮大な茶番劇」に終わるか～
2019年1月11日	週末版
2019年1月8日	財界トップの相場観と静か過ぎる「波」
2019年1月7日	「バブルは崩れてからがバブル」という考え方について
2019年1月4日	波乱の幕開けの読み方～猪突猛進の円高スタート～
2018年12月27日	3つの論点で要約する19年見通し
2018年12月25日	FRB議長解任騒動について～真正正銘のリスクオフを前に～
2018年12月21日	週末版(FOMCを終えて～新局面への第一歩、為替への影響は～)
2018年12月19日	FOMCを前に読みたい白川元日銀総裁インタビュー
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分)
2018年12月17日	2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか？
2018年12月14日	週末版(ECB政策理事会を終えて～「高まる警戒」と「続く自信」～)
2018年12月12日	2019年、世界経済の勘所～利上げの真価が現れる年～
2018年12月11日	ECB政策理事会プレビュー～再投資方針の行方～
2018年12月10日	動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU
2018年12月7日	週末版
2018年12月5日	遂に発生した逆イールド～金利に追随する株価～
2018年12月4日	バリ暴動の読み方～2つの懸念～
2018年12月3日	米中首脳会談～2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」～
2018年11月30日	週末版
2018年11月28日	メインシナリオへのリスク点検～FRBは来年こそ変わる～
2018年11月27日	続・「安全資産としての円買い」が勢いつかない理由
2018年11月26日	ECB政策理事会議事要旨～TLTRO3の行方～